

お口の健康について考えよう

最近、歯周病菌と肺炎、心内膜炎、低体重児出産、動脈硬化、糖尿病などとの関連が報告されています。特に高齢者の死亡原因の上位にある肺炎は、外部からの病原菌等が原因ではなく、口の中で増殖した肺炎原因菌を肺に誤って飲み込むことで発症するといわれています。



たたら歯科 歯科医師
小南俊美

口腔ケアとは

口腔ケアという言葉が聞く機会が増えてきました。口腔とは「口の中」という意味で、「口腔ケア」は口の中を衛生に保つための清掃、手入れなどのことです。狭い意味では、歯の清掃、義歯の清掃を指します。広い意味での口腔ケアは、口腔の機能(食事を摂る、飲み込み、発音、呼吸など)を維持、改善することを指します。つまり、歯科での治療や食事摂取、飲み込みなどの訓練、発声や口の運動訓練などです。

口腔ケアの目的

口腔ケアの目的としてはいろいろありますが、ここでは特に高齢者の方を対象に考えると、以下のことが挙げられます。

① 誤嚥性肺炎の予防

誤嚥性肺炎とは、食べ物をうまく飲み込む(嚥下)ことができずに、肺に入ってしまったことで肺炎を起こしてしまうことです。高齢者の肺炎の発生はこの「誤嚥」によるものが多くなっています。嚥下反射・咳反射の低下した高齢者は、睡眠中に不顕性の誤嚥をたびたび起こし、この際、唾液とともに口腔内の細菌も同時に誤嚥するため、誤嚥性肺炎を起こしやすいといわれています。介護を受けている人の口腔内は、「介護の鏡」といわれています。

【誤嚥】…誤って飲み込んでしまうこと。
【誤嚥性肺炎】…誤嚥に引き続いて発症する肺炎

【不顕性】…病気の過程が始まっているがまだ症状が表れていないこと
【構音】…口唇・舌・のどなどの筋肉を支配する神経が麻痺(まひ)しているため、語音を組み立てられない状態

② 口腔疾患の予防

適切な口腔ケアは高齢者に限らず、各種口腔疾患の予防に有効です。

③ QOLの向上

生活の質(QOL)を高めるという考え方は、高齢者にとって重要な価値基準です。質の高い生活とは、自分の求めている暮らし方が現実のものとなる生活であり、そこに満足があり、喜びがあり、笑顔があります。口腔ケアにより、口から食べる、おいしく食べることが高齢者の自立とQOLの向上に寄与することになります。

歯みがきの注意点

- 毎食後30分以内に5分以上の歯磨き。
- 力を入れすぎない。
- 舌の汚れ(舌苔)も手入れする。
- 義歯は就寝前に必ず外す。



口腔ケア(口腔清掃)の基本はブラッシング(歯磨き)ですが、最近は様々な口腔ケア用品が発売されています。詳しくは、歯科医師、歯科衛生士にお尋ねください。

たたらリハビリテーション病院 10周年記念

タタリンピックを開催します

9/29(日) アクション福岡
(東平尾公園内屋内施設)

今年は、法人50周年、病院10周年を記念して、「大運動会 タタリンピック」を開催します。このため、今年の「たたら脊椎地区 いきいきふれあい 健康まつり」は中止させていただきますので、ご了承ください。送迎バスを準備しますので、友の会、地域の皆様、多数のご参加をお待ちしています。詳しくは、092-691-5508 総務課:末次まで。

考えてみよう! TPPのこと

2013年1月17日(木)、JA福岡中央会・吉村雅光氏、福岡県民医連事務局長・和田峯暢浩氏を招いて学習講演会を開催しました。

TPPとは・・・Trans-Pacific Partnership (環太平洋経済連携協定)の略語です。

TPPの原則は「関税の撤廃」「各国のさまざまなしくみやルールの統一」を図ることです。

JA福岡中央会の吉村氏からは、TPPは農業だけでなく、医療・金融・人材・サービスなどを始めとする24の分野で、国民生活に多大な影響がでることを、図表などを用いてわかりやすく力説されました。

福岡県連の和田峯氏は、アメリカ型の自由診療で日本の公的に保障された医療が崩壊していくこと、マイケルムーア監督の映画「シッコ」を用いて説明されました。



マスコミは、本質的な問題をきちんと報道しておらず、国民にその内容が十分に伝わっていません。いつでも、どこでも、誰もが安心して医療を受けることのできる制度を確立するためにも、このTPP参加には絶対反対を貫くことが重要です。



全日本民医連の資料やJAのDVDを活用して、職場や地域でTPPの学習を推進し、TPP参加反対の声を大きくしましょう!!

TQM大会とは

2009年から毎年開催されているTQM大会は、病院の医療・介護の質の向上のために、各職場や職種を超えたチームがテーマを決めて取り組み、その成果を発表する病院の重要な年間行事のひとつです。

●病院の理念

①人としての尊厳、患者の人権を尊重した無差別・平等の医療 ②安全・安心・信頼の医療 ③地域の健康づくりに取り組み、安心して住み続けられるまちづくり

病院の理念に基づいた医療・介護活動の実践をして行くには、働く職員がいきいきと輝き、やりがいを感じて患者・利用者に接することが重要であり、そのことが病院全体の質の向上につながります。参加者に1年間の取り組みが伝わるように動画を取り込むなど、発表内容は年々創意工夫にあふれ、活気のある大会となっています。病院職員同士の横のつながりや、他職場の取り組みを共有できる場として、また、法人内の事業所や地域の友の会の方々などに参加を呼びかけ、大会を通じてたたらリハビリテーション病院の活動内容を知っていただく良い機会になっています。



「TQM大会」のもうひとつのお楽しみ企画として、「文化企画」があります。これまでに高校生の津軽三味線や、患者さんご家族のバンド演奏、中国獅子舞、ジャグリングなど、参加者の皆様が笑顔で楽しめる内容で、これも大変好評です。



実行委員会では毎年の開催テーマや会場作りに工夫を凝らし、「たたらリハビリテーション病院らしさ」にこだわっています。

発表終了後に、会場の参加者の投票で優勝、準優勝、入賞などを選定、友の会の審査委員賞や院長賞など特別賞も設け表彰しています。また、2010年度からは、1年間頑張って敷地内整備した職場の取り組みもTQM大会で紹介しています。定期的にTQM委員が、各職場の敷地内分担域を点検して、一番整備された職場を選出しており、3年連続で「通所リハビリ」が優勝しました。



これらの活動は、職員全体のモチベーションアップ、病院全体の活性化につながっており、今後もこの大会を継続して、病院の医療・介護の質の向上を図っていきたいと考えています。



第5回TQM大会と清掃部門で2冠達成した通所リハ室のみなさん！

病棟別

ユニフォームのご紹介

3階病棟

Tシャツのロゴマークの由来は..

胸「ブレーメンの音楽隊の動物たち」

「困難にも仲間と力を合わせて立ち向かおう！みんなの持ち味を活かして団結しあえる仲間。」こんな想いが込められています。



背中「お茶マーク」

3階病棟といったら・・・「飲水の促し」ということで、お茶マークをつけました。高齢者に怖い脱水、再梗塞予防のために取り組む「飲水促し」は、実は一人ひとりのかなりの力量が必要なんです。様々な工夫と患者さんへの説明を重ねて、再発予防をおこなっています！



4階病棟

医療療養型病棟のテーマカラーはピンクです。



2012年夏に作成しました。看護師はパッションピンク、介護士はピンクですが、青や紫のカラフルな色のポロシャツもあります。9名の男性職員は、女性職員に負けなくらいピンクのポロシャツを可愛く着こなしています。



たたらリハビリテーション病院では、病棟別にそれぞれのスタッフたちによる「オリジナルデザイン」のユニフォームを着用し、日々業務に勤しんでいます。そのデザインが出来上がるまでのプロセスや思い出をご紹介します！

5階病棟

5階病棟のテーマは【絆】です。患者さん・ご家族・スタッフとの絆を大切に、毎日頑張っています。

胸「四つ葉のクローバー」

クローバーが幸せを運んでくれます。Good!!!



背中「絆」

全ての人が力を合わせてつながって行けるようにとこの一字にスタッフみんなの願いを込めて・・・



カラーは、5階病棟のテーマカラーであるオレンジ色です。太陽のようにあかるく輝く、患者さん、スタッフの笑顔のイメージです。どこへ行っても目立ちます(笑)

通所リハ室

通所リハTシャツのロゴマークの由来は団結力。

通所のマスコットキャラクター？である猫をモチーフにそれぞれの持つ個性を活かし、弱みも強みにかえて『みんながリーダー』を実践していけるように考えました。

また、通所リハTシャツのカラーの由来は、他部署とはかぶらないように(笑)という理由と、通所スタッフはまだ未熟だがその青々しさをフレッシュな新戦(新鮮)力として発揮でき、将来はたたらリーダーになれるよう念を込めてジャンプブルーにしました。

